

第1回 幼保小合同研修会だより

日 時 : 令和7年5月26日(月) 午後3時～午後4時40分

場 所 : 郡山市役所 特別会議室 (対面研修)

講 演:「両足を失い見つけ掴んだ夢」
講 師: アルペンスキー選手 チェアスキーヤー
2014年ソチ冬季パラリンピックアルペンスキー
男子回転座位金メダリスト

鈴木 猛史 氏



福島県猪苗代町出身のパラリンピックスキー金メダリストである鈴木猛史さんに御講演をいただきました。小学校2年の時に交通事故で両足を失い、人前に出ることを嫌がった鈴木さんを、両親や先生たちが他の子どもたちと変わらないように接し、積極的に外の世界に連れ出し、多くの経験をさせたことが鈴木さんの人生に大きな影響を与えたそうです。これにより、外の世界と向き合い、アルペンスキー座位クラスという新しい可能性を探るきっかけを得たと話されていました。

高校2年生の時にはトリノパラリンピックに初出場し第4位、2010年のバンクーバーパラリンピックでは大回転で銅メダル、2014年ソチパラリンピックでは滑走で銅メダル、回転で金メダルを獲得するという快挙を成し遂げられました。現在も現役で、2026年にミラノで行われるパラリンピック出場を目指し頑張っているそうです。鈴木さんの御講演に感動し、最後は60名参加者全員で激励の拍手を送りました。



車椅子から飛び降りる
姿に体幹の強さを感じ
ました。



参加者全員がメダルに触らせていただきました。そのずっしりとした重みから、鈴木選手の努力の末に
掴み取った栄光の
重さを感じました。



アンケートより

- *心のバリアフリーがあれば、どこでもバリアフリーになるという言葉が心に刺さりました。
- *子どもたちの可能性を見限ることなく、多方面からできることはないか、考えていきたいです。
- *子どもたちが挑戦できる環境を作れるよう関わっていききたいです。
- *メダルを生まれて初めて見て、手にすることができ最高でした。同じ福島県民として応援しています！
- *何より笑顔が印象的でした。
- *お話の中で何度も何度も「自分の障害は軽い方だから」とおっしゃっていましたが、決して軽いとは思いません。多くのことを乗り越えたからこそその言葉なのだろうと思います。
- *ミラノオリンピック、頑張れ！応援しています。